

口永良部島における二酸化硫黄放出量の計測

口永良部島において、2008年10月28～29日にCOMPUSSを用いた二酸化硫黄放出量の計測を行った。測定された二酸化硫黄放出量の平均値は、前週（10/20.21）とほぼ同程度となる約100 ton/dayとなった（図1）。尚、10月29日の放出量値は前日の約30%減となっており、屋久島町役場口永良部島出張所から見られる噴煙量も減少していたが、30日における見た目の噴煙量は28日と同程度にまで回復していた。

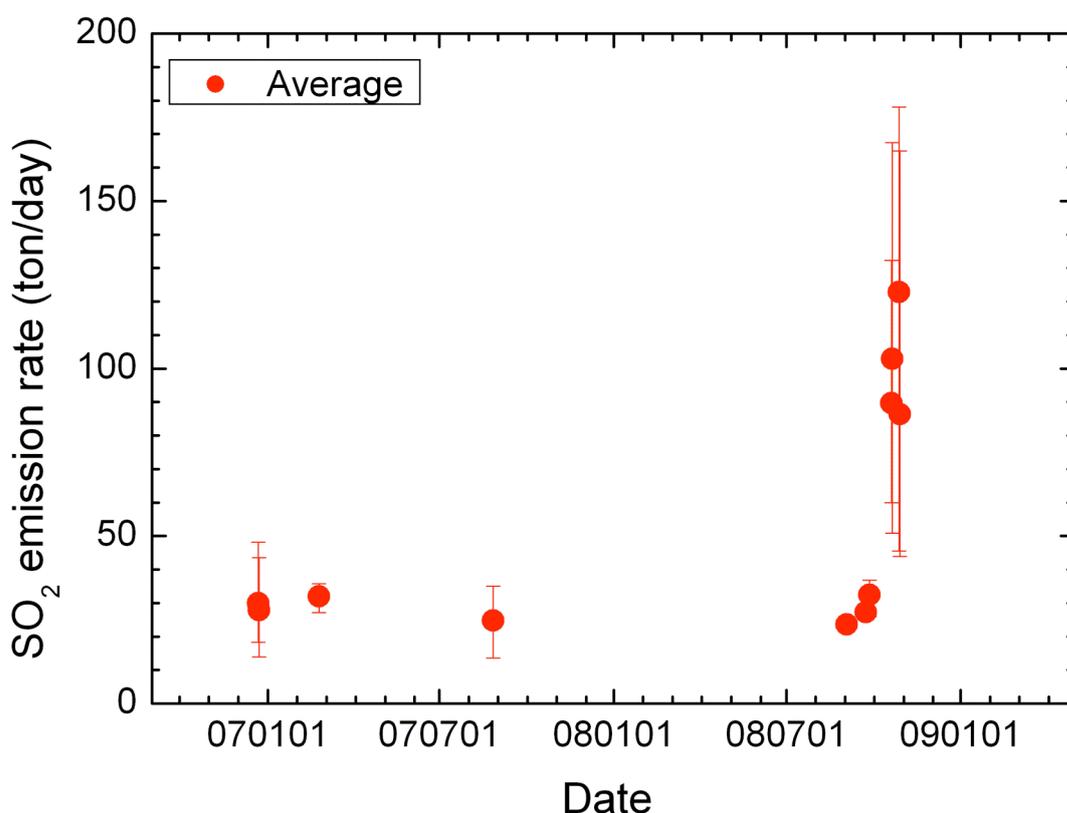


図1 2006年以降の口永良部島（新岳）からの二酸化硫黄放出量
放出量は全てトラバース法によって計測されている